

## 市民参画に係わる市民座談会（第19回）《要旨》

平成25年1月10日（木）午後7時から午後9時まで

朝霞市役所別館5階第5会議室

参加者 15人

【市民】岩垣、尾池、大野、小嶋、坂本、佐野、竹内、藤井、宮本、山本、米野

【職員】政策企画室 佐藤、又賀、浅見 地域づくり支援課 中島

座談会における内容は以下のとおり

### 1 グループごとの話し合い

①まちづくり	②市民参画全般	③広報・広聴
<ul style="list-style-type: none"><li>・岩垣</li><li>・小嶋</li><li>・坂本</li><li>・藤井</li><li>・宮本</li><li>・山本</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・佐野</li><li>・米野 (佐藤)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・尾池</li><li>・大野</li><li>・竹内 (又賀、浅見、中島)</li></ul>

( ) 内は、市職員

・グループに分かれて、テーマ等について話し合った。内容は別紙のとおり。

### 2 次回の座談会について

・平成24年2月14日（木）午後7時から

・場所はコミュニティセンター第1集会室

# 市民座談会（第19回）

日時：平成25年1月10日（木）19時～

場所：市役所別館5階第5会議室

グループ名	① まちづくり（ ）
参加者	岩垣、小嶋、坂本、藤井、宮本、山本
内容	<p><b>【メンバーから出た主な意見】</b></p> <p>宮本) 将来像：ずっと住み続けたいまち朝霞          基本理念：自立と交流でつくる元気なまち          達成方法：自然を活用したまちの活性化・まちづくり          ○仕組みづくりとして…          「自然・健康・子育て・産業・安心・安全」の実践のために、まちの中心部から仕組みづくり、それぞれの項目についての提案を説明</p> <p>山本) イメージ：住み続けたいまち          子どもを中心に考えた…育てやすい環境          ○自然豊かな場所、家族の見守り          ○学校以外の公共施設          ○町内会・自治会          ○学校教育          } 高齢者の経験</p> <p>岩垣) イメージ：高齢者が元気なまち          朝霞駅南口・東口を中心にまちづくりを展開          ・憩いゾーン ・ビジネスゾーン ・散策ゾーンの位置付け          野菜工場、電子町内会          朝霞の森の運営資金として、「市民コミュニティ財団」「まちづくりファンド」など          市民満足度の高い構想の立案・運営          当面のまちづくりの中心は「朝霞の森」</p> <p>坂本) 現状を見る→望ましい姿          ○3つのゾーンに分ける          ・「商業と文化・公園のゾーン」朝霞駅南口          ・「商業と川の自然ゾーン」北朝霞～黒目川          ・「田園と自然のゾーン」内間木・田島地区          ○市民参画          ・政策過程への参加と執行過程での参加          ・意見を言いやすい仕組み          ・自治会、活動団体の活用</p>

## 市民座談会（第19回）

日時：平成25年1月10日（木）19時～

場所：市役所別館5階第5会議室

### 【メンバー間での話し合い】

- ・朝霞駅～市役所通り…バスは迂回させる  
歩行者が自由に歩け、車は遠慮してゆっくりと走行する  
→川越駅⇔本川越駅、所沢駅前（プロペ通り）  
→商店街の活性化へ  
朝霞の森を上手く活用し、市外の人呼び込む  
“商店街の活性化”を前面に出すと足を引っ張られる  
→地元大学とのタイアップ
  
- ・どうまとめるか？（ハード面・ソフト面）
- ・出しただけでは意味がない→実現化に向けて足跡を残す

## 市民座談会（第19回）

日時：平成25年1月10日（木）19時～

場所：市役所別館5階第5会議室

グループ名	②市民参画全般（ ）
参加者	佐野、米野、（佐藤）
内容	<p>○佐野さんより、前回の座談会（出席者が佐野さんのみであった）での話題全般についてのおさらい。</p> <p>○高齢化が進み、防災面から地域コミュニティ再生の必要が高まっている。相互扶助の意識。キーマンの存在が重要。</p> <p>○事例として</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・基地跡地広場の利用における市民参画</li><li>・三原の公園～その後の展開がない</li><li>・第四小の建替え</li></ul> <p>○市民がただ集まっても、コトを進めるのが難しいことが多い。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ファシリテーターが必要</li><li>・ファシリテーターを養成するような仕組みがあると良い</li><li>・ファシリテーター講習を開き、市民参加の場で実践をする仕組み</li></ul> <p>○総合振興計画に「市民参画」の項が設けられている。今後の市民参画の推進においてあらためて内容を確認すべき。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・内容の過不足はともかく、計画に定められた内容について行政評価が実施されているので、実際にどの程度の（総合振興計画に定められた）市民参画が推進されているのかを知る必要がある。</li><li>・その上で、振興計画が不十分なところを洗い出して次期振興計画に反映させられると良い。</li></ul> <p>○次期総合振興計画の策定について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・現在、市の方でどのように策定過程で市民参画を取り入れるかを検討している。</li><li>・上記検討段階から市民参画が実現すると良い。例えば前回の委員会、審議会の参加者にヒアリングをするなど。</li></ul>

# 市民座談会（第19回）

日時：平成25年1月10日（木）19時～

場所：市役所別館5階第5会議室

グループ名	③広報・広聴（ ）
参加者	尾池、大野、竹内、（又賀、浅見、中島）
内容	<p>【メンバーから出た主な意見】</p> <p>○パブリック・コメントの充実</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・事前の説明会を運用で開催できたらよい ⇒市も説明し、市民も自ら勉強する</li><li>・意見に対する回答方法が課によって異なっている現状（個別回答、一括回答）</li><li>・周知の方法（説明会・勉強会）、職員の意識改革が必要</li></ul> <p>○広報</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市がどのように周知したいのか、その姿勢</li><li>・ホームページがあれば紙ベースのものは不必要な人の割合を調査する必要あり</li><li>・あかぬけない</li><li>・取り上げる内容が身近→親しみがわく</li><li>・どうあるべきか？→興味深い内容を取り上げることが第一</li></ul> <p>○ホームページ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・情報が多い→見にくいのはしょうがない？</li><li>・市の場所が出てこないのが不思議→わかっている前提</li></ul>